

各市大発高インパクト論文表彰

所属	補職	氏名	種別	対象論文名	学術誌名	発表年	論文の概要	URL
医学研究科（基礎系）	助教	津田 香那	筆頭	MYB, MYBL1, MYBL2 and NFIB gene alterations and MYC overexpression in salivary gland adenoid cystic carcinoma	Histopathology	2017	腺様嚢胞癌は、唾液腺悪性腫瘍の中でも最も頻度の高いものの一つであり、長期的な予後は不良である。本研究では、腺様嚢胞癌に関連する遺伝子であるMYB, MYBL1, MYBL2, NFIBの異常、それらの標的分子であるMYCの発現、およびこれらの変化が有する臨床病理学的意義を検討した研究である。	<a href="http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/patho2.dir/mvsitel/index.html">http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/patho2.dir/mvsitel/index.html</a>
医学研究科（基礎系）	教授	稲垣 宏	責任					
医学研究科（臨床系）	助教	小椋 俊太郎	筆頭	Sustained inflammation after pericyte depletion induces irreversible blood-retina barrier breakdown	JCI Insight	2017	中枢神経系では、血管壁の内皮細胞（EC）と周皮細胞（PC）が協力して物理的・化学的バリアを形成し、神経の恒常性を維持している。しかし、糖尿病性網膜症（DR）では、血管壁からPCが失われることで、血液-網膜関門（BRB）が破壊され、視力を脅かす血管障害が生じると考えられている。しかし、DRの適切なモデル動物がないため、疾患の理解や創薬には至っていない。本研究では、抗PDGFRβ抗体を用いて、発達中の網膜血管へのPCの流入を一時的に阻害すると、成体マウスの網膜においてEC-PCの解離が持続し、BRBが破壊されることを示し、DRの特徴である透過性亢進、低灌流、新生血管形成を再現する研究である。	—
薬学研究科	准教授	田上 辰秋	筆頭	3D printing of unique water-soluble polymer-based suppository shell for controlled drug release	International Journal of Pharmaceutics	2019	3Dプリンター技術は、オーダーメイド医薬品の製造手段の一つとして期待されています。もともと産業分野において3Dプリンターで複雑な形状・構造物を作製するときに鋳型を先に作製する方法（鋳型法）が知られていましたが、本研究はこの概念を坐剤（坐薬）の外殻の作製に活かし、坐剤内部からの薬物放出速度や放出タイミングを制御できるユニークな坐剤外殻を開発しました。熱溶融積層方式の3Dプリンターを用いて水溶性ポリマーのポリビニルアルコールを基剤とした坐剤外殻を作製し、病院薬剤師がプロゲステロンの坐剤を院内製剤として作製してきた経緯を踏まえ、臨床現場で3Dプリンターで製造できる医薬品モデルを発信しました。	<a href="https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0378517319305368">https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0378517319305368</a>
薬学研究科	教授	尾関 哲也	責任					
経済学研究科	准教授	坂和 秀晃	筆頭 責任	Institutional ownership and firm performance under stakeholder-oriented corporate governance	Sustainability (Switzerland)	2020	本研究は、日本のようなステークホルダー重視型の経済において、株主重視型のスコープを持つ機関投資家の役割を明らかにすることを目的とした研究である。本研究では、金融のグローバル化に伴い、日本企業における機関投資家持分が増加していることから、彼らの株主重視型の視点が、ステークホルダー重視型のコーポレート・ガバナンスの下で効果的なモニタリングの役割を担うのに適しているかどうかを検証した。	<a href="https://researchmap.jp/hideaki.sakawa">https://researchmap.jp/hideaki.sakawa</a>
人間文化研究科	講師	Andrea Castiglioni	筆頭 責任	Devotion in Flesh and Bone: The Mummified Corpses of Mount Yudono Ascetics in Edo-Period Japan	Asian Ethnology	2019	現代の日本では、湯殿山（山形県）の名声は、この山地の様々な寺院に修行者のミイラ化した遺体が集中していることに由来する。これらの剥製は、修行者が死を前にして地下の墓室に自ら閉じこもり、自発的に肉体を放棄した結果であると解釈されることが多い。本研究では、湯殿のミイラ化した遺体について再考するものである。	—
看護学研究科	教授	樋口 倫代	責任	Knowledge of rabies and dog-related behaviors among people in Siem Reap Province, Cambodia	Tropical Medicine and Health	2018	カンボジアでは、狂犬病の発生率や犬の数が近隣諸国に比べて非常に高い。狂犬病や犬に関する知識や行動は、地域社会における狂犬病感染対策の一因であると考えられているが、カンボジアの農村部ではそのような情報は限られている。本研究は、カンボジアのシェムリアップ州の人々の狂犬病に関わる知識と経験、および、犬に関わる行動を評価し、十分な知識に関連する具体的な要因を明らかにすることを目的とした横断的研究である。	—
理学研究科	教授	鎌田 直子	責任	Colorings and doubled colorings of virtual doodles	Topology and its Applications	2019	仮想doodleは、タイプ3のReidemeister移動が禁止されるような古典的なReidemeister移動と仮想Reidemeister移動のフラットバージョンによって生成された同値関係の下での仮想ダイアグラムの同値類です。この論文では、doodleスイッチと呼ばれる代数を使用した仮想ダイアグラムのカラーリングについて議論し、仮想doodleの不変量を定義します。ダイアグラムの通常のカラーリングに加えて、2重カラーリングも導入しています。	—

※筆頭：筆頭著者、責任：責任著者